

ひがしこくぶ 西国分
にしこくぶ 東国分
東国分・西国分校区の

文化財マップ

久留米市教育委員会

東国分・西国分校区の文化財

久留米市街地の南東部に広がる東国分・西国分校区は、国道3号線やJR久大本線が通る交通の要所で、その大半が住宅地となっており、たくさんの市民が生活しています。

東国分・西国分校区の地形は、明星山から西に伸びたなだらかな低丘陵の先端にあたり、古代から多くの人々が生活していたようで、比較的多くの遺跡が発見されています。特に縄文時代の生活痕跡である正福寺・宮ノ脇・政所・木下・名人の各遺跡は、日渡遺跡群として、縄文時代前期から晩期に至るまでの久留米を代表する遺跡として著名です。平成13年からの調査では、縄文時代中期から後期にかけての大集落跡が発見され、全国的にもまれなドングリの貯蔵穴や網カゴなどが出土しています。

弥生時代の遺跡は、正源寺・生尻・隈山・大園遺跡などから、弥生土器が出土していますが、詳しいことはよくわかっていません。

古墳時代になると、大規模な集落が営まれます。野中前遺跡や野中三十六遺跡では、久留米最大の竪穴住居を含む、広範囲にわたる大規模な集落が発見されました。又、中隈山古墳群・山の神古墳群・隈山古墳など、古墳も多く造られていて、多くの人々が生活していたことが窺えます。

天皇を中心とする中央集権国家が成立した奈良時代には、国内の整備に伴って全国に幹線道路（官道）が敷設されました。九州では西海道と呼ばれる官道が西国分校区内を通過しています。又、鎮護国家思想の下、全国に国分寺・国分尼寺が造営されますが、現在の日吉神社付近に筑後国分寺・国分尼寺が造られました。当時、筑後地方における文化の中心地であったと言って良いでしょう。

平安時代から中世にいたる時代は、大園遺跡・栗林遺跡・野中本村屋敷遺跡で当時の食器や大陸から輸入された陶磁器などが確認されています。高屋敷などの地名から、当時の有力者の館が存在したことが考えられます。

江戸時代末期には、久留米藩11代藩主有馬頼成が東野中の藩主別邸に東野亭窯を開窯しました。しかし、窯は長く操業されず、明治時代に入って民間に払い下げられ廃窯となりました。

このように、東国分・西国分校区には市指定の重要な史跡を含むたくさんの遺跡があり、ふるさとの歴史に接するにふさわしい所といえましょう。このマップを手に、歴史探検をしてみたいはいかがでしょうか？

■こんなにあるぞ！東国分・西国分校区の文化財■

No	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	筑後国分尼寺跡	奈良	筑後国分寺と共に創建されましたが、正確な場所や内容は分かっていません。
2	国分寺瓦窯跡	奈良	筑後国分寺創建に伴い、瓦を供給したものと考えられています。
3	正源寺遺跡	弥生	弥生土器片が散布していますが、詳細は不明です。
4	隈山遺跡	弥生・古墳 室町・戦国	弥生土器・須恵器・青磁が散布しています。また、石塔婆類が散布する中世墓地です。
5	山の神古墳群	古墳	巨石を用いた横穴式石室を含む3基の円墳がありましたが、現在は消滅しています。
6	中隈山古墳群	古墳	6～7世紀に築造された10数基の古墳で構成される古墳群で、現在は3基程度が残っています。
7	十三塚跡	古墳(?) 歴史	坊ノ津街道沿いに連なる7つの塚と他の6つの塚からなるもので、古墳とも供養壇ともいわれています。
8	天神塚古墳	古墳	直径16m程度の円墳と想定されますが、出土遺物や内部構造は不明です。
9	船塚跡	古墳(?)	武内宿祢が船を着けた伝説がありますが、箱式石棺が出土したものと思われる。
10	正福寺遺跡	縄文・弥生 奈良・平安	縄文時代中期～後期の遺物やドングリ貯蔵穴、弥生時代後期の集落跡が発見されています。
11	白川遺跡	奈良・平安	奈良時代の竪穴住居や古瓦などが出土しており、筑後国分寺との関わりが強い遺跡です。
12	大木下遺跡	縄文	縄文時代後期の西平式土器・三万田式土器が出土しています。
13	宮ノ脇遺跡	縄文	縄文時代前期・後期・晩期の土器・石器が多数出土しています。
14	政所遺跡	縄文	縄文時代前期・後期の遺物が採集されています。
15	名入遺跡	縄文	縄文時代中期・後期の土器・石器が採集されています。
16	三池(焼刃の池)	歴史	三池典太の鍛冶場跡と言われますが、現在は消滅しており、詳細は不明です。
17	国分白川城跡	戦国	高良山座主家一族の丹波良運の居城と伝えられています。
18	野中東田遺跡	歴史	縄文時代晩期の遺物が出土しています。平安時代の里道と思われる遺構も検出しました。

19	の なかまえ 野中前遺跡	古墳	古墳時代後期の集落遺跡で、竪穴住居が7軒、掘立柱建物が2棟検出されています。
20	の なかさんじゅうろく 野中三十六遺跡	古墳	古墳時代後期の集落遺跡で、竪穴住居が1軒検出されています。
21	しょうじり 生尻遺跡	弥生・歴史	推定西海道の延長線上に位置する。弥生土器・土師器・陶磁器が出土しています。
22	の なかほんむら やしき 野中本村屋敷遺跡	歴史	18世紀後半～19世紀前半の農村のゴミ捨て穴を検出しました。
23	おおぞの 大園遺跡	弥生・平安 鎌倉	弥生時代後期の土器や竪穴住居、土師器・須恵器・白磁・青磁等が発見されています。
24	くりばやし 栗林遺跡	歴史	土師器や青磁等が採集されています。
25	とう や ていけい 東野亭窯跡	江戸・明治	第11代久留米藩主有馬頼咸が開窯した「お庭焼き」。明治8年に廃窯となりました。
26	さいかいどう 西海道跡 (上牟田地区)	奈良・平安	筑後国府～肥後国府を結ぶ官道（幹線道路）で、幅7m以上の道路が発見されました。
27	く め ふ り じゅうようじょ 久留米俘虜收容所	大正	第1次世界大戦で捕虜になったドイツ兵士を收容した日本でも最大規模の收容所です。
28	ドイツ へい ふ り よ ぼ ドイツ兵俘虜墓	大正	久留米俘虜收容所に收容され、久留米で亡くなったドイツ兵士11名を埋葬した墓地です。
29	えんけい や がいこうどう 円形野外講堂	昭和	昭和14年から17年にかけて造営された陸軍墓地の付属施設です。
30	どう わき 堂ノ脇遺跡	弥生	弥生時代中期の土器や筑後国分寺のものと思われる古瓦が出土しています。
31	ひ わし 日渡遺跡	縄文・弥生 奈良～鎌倉	縄文時代の大集落跡。平安時代の銅印が出土しています。
32	う え はら 上ノ原遺跡	歴史	筑後国府から筑後国分寺へ通じる道が発見されています。

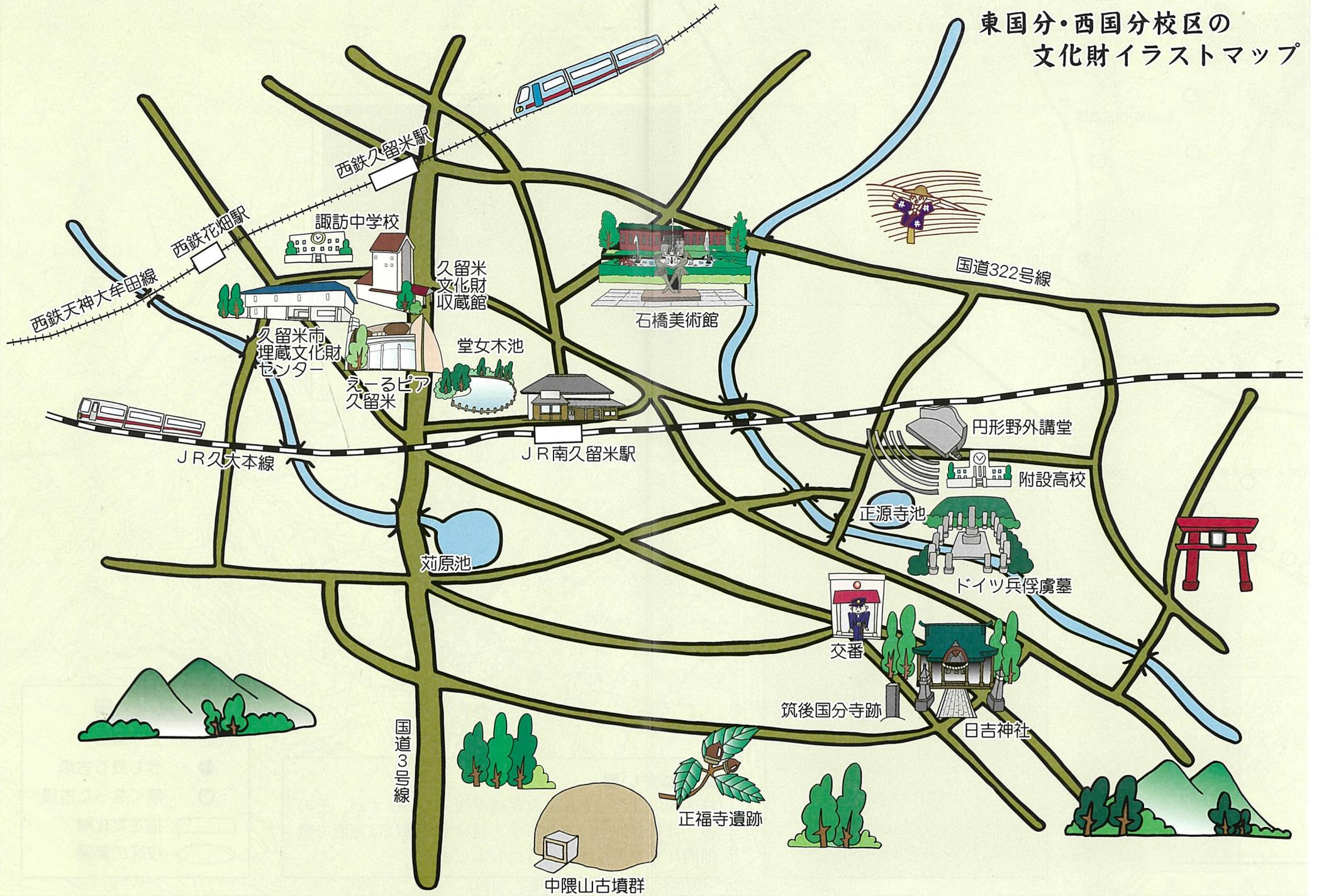
■貴重な指定文化財たち■

No.	指定文化財の名前	指定区分	こんな文化財です
33	ちくごこくふんじあと 筑後国分寺跡	史跡（市指定）	天平九年（741年）建立。発掘調査で、講堂・塔跡が発見されました。
34	せきじん 石人	有形文化財（県指定）	いたいし 板石に人物と鞍を浮彫したもので、有力な古墳に立てられたと考えられます。
35	く め ぎ おんざいれい ず 久留米祇園祭礼図	有形文化財（市指定）	すさのお 篠山町素盞鳴神社が祇園社と呼ばれていた江戸時代の祇園会の様子を描いたものです。

■東国分・西国分校区の歴史年表■

東国分・西国分校区のできごと	時代	西暦	日本のできごと
●人々の生活が始まる	旧石器	20,000	狩りや漁・採集などで生活する
		10,000	土器や弓矢を使い始める 日本列島がほぼできあがる 落とし穴での狩りが盛ん
●正福寺・大木下・宮ノ脇・政所・名入遺跡 (日渡遺跡群)に集落が営まれる	縄文	400	稲作が伝わる
		紀元前	
●集落がつくられる (大園遺跡)	弥生	紀元後	倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める 古墳が造られ始める
		300	
●集落がつくられる (野中前・野中三十六遺跡) ●たくさんの古墳がつくられる (中隈山・山の神古墳群など)	古墳	500	磐井の乱 (527) 仏教伝来 (538)
		600	群集墳が盛んにつくられる
●北海道が整備される ●筑後国分寺・国分尼寺がつくられる	飛鳥	700	大化の改新 (645) 白村江の戦いで大敗北 (663) 筑紫大地 (679) 平城京に都を遷す (710) 筑後国府・国分寺がつくられる
		800	平安京に都を遷す (794)
●集落がつくられる (大園遺跡)	鎌倉	1,200	鎌倉幕府の成立 (1192)
		1,400	室町幕府の成立 (1338)
●丹波良運が国分白川城を居城とする	室町	1,500	応仁の乱 (1467)
		1,600	豊臣秀吉の天下統一 江戸幕府の成立 (1603) 久留米城下町ができる (1624~44)
●東野亭焼窯が操業される ●久留米俘虜収容所が造られる ●円形野外講堂が造られる	安土桃山	江戸	
		1,900	明治維新 (1868)

東国分・西国分校区の
文化財イラストマップ



文化財マップ

久留米文化財収蔵館
久留米の貴重な歴史的資料を収集、保存しています。



せきじん
石人 (久留米文化財収蔵館)



野中前遺跡
高屋敷交差点付近に広がる、約1,500年前の大集落跡が発見されています。

久留米市埋蔵文化財センター
市内の遺跡の情報や出土品を保管・管理しています。また、いろいろな体験学習もできます。



日渡遺跡
縄文時代から弥生時代、奈良時代～鎌倉時代にわたる複合遺跡です。



東野亭築跡
第11代久留米藩主有馬頼成が開築しました。発掘調査で、たくさんの陶器が出土しています。



正福寺遺跡
縄文時代中期～後期にかけての大集落跡で、採集してきたドングリを貯蔵しておく穴やドングリを入れておいた網カゴが良好な状態で出土しました。





大園遺跡

弥生時代から鎌倉時代にかけての複合遺跡で、
竪穴住居や掘立柱建物が発見されています。



円形野外講堂

戦前の昭和14年から17年にかけて造られた陸
軍墓地関連の施設です。



筑後国分寺跡



中隈山古墳群

約1,400~1,500年前に築造された
10数基からなる古墳群です。

■おねがい■

校区内にはたくさんの文化財が残っていますが、その
多くは私有地内にあります。見学する時には無断で敷
地内に立ち入らないようにしましょう。

凡 例	
	主な遺跡
	今も残る古墳
	無くなった古墳
	指定文化財
	校区の範囲



久留米市埋蔵文化財センターのご案内



体験学習「火おこし」のようす

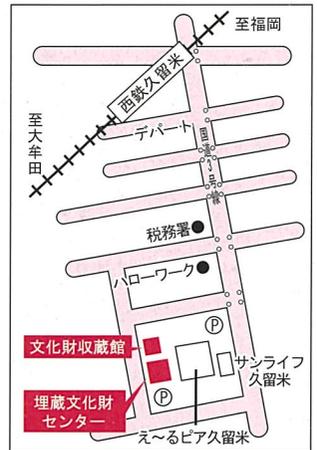
市内の遺跡から出土した土器や、図面・写真などの記録を収集・整理・研究するため、平成6年4月にオープンしました。センターでは、資料の貸し出しや文化財に関する相談に応じています。また、企画展として『ふるさとの歴史とふれあっ展』や毎年春には『文化財フェスタ』、秋には『考古資料展』を開催し、合わせて体験学習や現地説明会・スライド映写会など盛りだくさんの企画を行っています。

歴史に興味ある方もない方も気軽にお越しください。

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：土・日・祝祭日・年末年始

入館料：無料



《文化財に対するお問い合わせ先》

久留米市市民文化部 文化財保護課

久留米市城南町15-3（市役所12階）

Tel.0942-30-9225 Fax0942-30-9714

E-mail : bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化センター

久留米市諏訪野町1830-6（えーるピア敷地内）

☎0942-34-4995 FAX0942-34-5045

東国分・西国分校区の文化財マップ

平成16年3月31日

発行：久留米市教育委員会

編集：教育文化部文化財保護課

〈表紙〉正福寺遺跡出土の網カゴ